

論文の内容の要旨

論文題目 名勝地保護施策に関する研究

氏名 平澤 毅

本研究の背景、目的、方法等（第I章）

日本における名勝地保護施策は1世紀余りの歴史を有する。一方、我が国造園学の初期における研究対象として重要な分野のひとつであった名勝保護に関する検討は、今日、活発とは言えない。そのような状況の背景には、名勝地に関する取組が文化財保護行政において漸次的に取り組みられて来たことや、時代とともに発展して来た自然保護や景観保全などの関連諸施策との関係から、その検討対象が限定されてきたことなどが影響していると考えられる。しかし、それらのことがどのように推移してきたのかなどに関してはこれまで概観に止まり、仔細を詳らかに検討されて来なかったため、今日においても名勝地の概念や対象とする内容、範囲が依然として曖昧な印象の中で論じられ、その保護の意義もいまだなお十分に普及していないのが現状と言える。

本研究では、こうした背景を踏まえ、日本における名勝地について、国内外の文化財、遺産、環境、景観等の関連諸分野との横断的観点から近代以降の保護に関する施策の経過を読み解き、文化財としての名勝地に含まれる概念や対象としての内容、範囲などに係る諸事項を検討することを通じて、日本における名勝地保護の今日的な意義と役割、保護施策としての計画の重要性、そして、名勝地保護施策の将来に向けた課題と展望について考察することを目的とした。

そのため、史蹟名勝天然記念物保存法（1919年制定）及び文化財保護法（1950年制定）の名勝に係る運用の沿革のほか、これらの法律の規定により指定された名勝の事案を中心に、名勝地保護施策の検討のための基礎的な資史料を総括的に検討し、概ね2015年末までの諸事項を研究対象として編年的な考察を加えるとともに、これからの名勝地保護施策を考える上で重要な国内外の遺産の取組と比較し、さらに、関連する保存・保護・保全施策動向との横断的な考察を行った。

名勝地保護施策に関する基礎的考察（第II章）

最初に、名勝地保護施策に関する基礎的考察として、本研究が主たる対象とする「名勝地」、あるいは、保護制度としての「名勝」に関する基礎的な知見とともに、名勝の指定等の趨勢のほか、その基準と説明に関する基本的な整理を示した。そして、名勝地の保護措置は、優れた国土美を基準として講じられ、文化財保護の枠組みにおいて様々に展開して来たが、その一方で、環境・景観等の関連する施策との関係を踏まえた横断的検討が十分されて来なかったことを示した。

日本におけるランドスケープ・遺産保全制度等の沿革と「名勝」保護施策（第III章）

次に、今日において名勝地保護施策を論じるためには、関連する動向の沿革を横断的に把握することが極めて重要であるとの観点から、以下の3つの文脈において考察した。

第一に、国内外における施策の大局的な文脈として、近現代の「ランドスケープ」と「遺産」の保護・保全に関連する動向を概観した。そして、今日においては、地域の全体性を把握し、検討する観点を出発点として、包括的な取組が求められていることなどを示した。

第二に、特に日本の風景に関する施策の文脈を中心として、明治時代以来の保護・保全に関わる制度等の沿革を検討し、それぞれの時代の社会の様相に応じて、名勝保護制度のほか、様々な枠組みが創出されてきた経過と現状を整理した。そうした検討から、地域のランドスケープの把握において、歴史や伝統を反映した遺産の重要性に対する認知が普及してきたことなどを示した。

第三に、名勝地に対する措置とも密接に関連してきた遺跡に関する動向の検討を基礎として、国内外に展開して来た遺産の保存と活用に関する取組においても、近年、様々なアプローチから特に地域の在り方が注目されていることを確認した。また、こうした今日に至る遺産のマネジメントの文脈を踏まえつつ、名勝地保護に関する施策展開を確認した。そして、多様な保存・保護・保全概念に晒されている諸施策の運用においては、総合的マネジメントの観点から、制度の枠組みよりも個別具体的な計画の立案・策定と運用・実践を重視すべきことなどを示した。

さらに、環境や景観、遺産に関する諸施策が進展し、多様な保存・保護・保全概念の中にある名勝地保護施策は、文化財行政の限られた範囲で展開されて来たことに改めて留意した。

こうした検討から、特に検証し、考察すべき事項として、以下の3点を掲げた。

- 名勝の指定実績や保護施策の重点等に関する具体的な経過と現状
- 名勝地を含む記念物の保護制度と近年創設された文化的景観の保護制度との比較
- 名勝に係る計画に関する沿革と展開

名勝地概念の特性からみた類型と保護対象の変遷（第IV章）

今日の日本における名勝地概念の成り立ちを検討する上で重要な観点は、史蹟名勝天然記念物保存法以来の記念物行政の一体性の下、その保護対象に「自然的なもの」と「人文的なもの」の類型を一義的に含むことである。一方、文化財保護法下の名勝地保護施策において最も発展してきたのは人文的なものの代表たる庭園に関する措置であり、自然的なものに関する検討は環境行政の発展の中で長い間にわたって消極的なものであったと評価できる。本章では、こうした状況の具体について、「名勝地としての庭園と公園」と「自然の名勝地」の2つの観点を軸に検討した。

特に庭園については、遺跡整備等の発展動向とも併せて、近代に属する庭園や公園、発掘調査により検出された庭園遺構などに関する様々な検討と取組が大きく進展したため、名勝地保護施策に固有な対象として今日に定着していると言える。また、自然的なものについては、既指定物件の保存管理に関する検討が進められるに止まってきたが、近年では、地域における自然環境保全に関わる諸施策との連携が重要な課題として顕在化してきたほか、庭園における価値内容の多様化とも関連して文化的観点からの自然的名勝の把握が進められて来たことなどを示した。

以上のような検討を通じて、今日的観点から名勝地としての保護対象の時代性、重複性、多面性を考察し、地方的偏在性や未だ措置が十分ではない名勝地種別の存在など、時代とともに十分な取組が講じられて来なかった課題を考察した。そして、関連諸施策との協調性を広い観点から積極的に評価すべきこと、名勝地が有する多様な内容を活かした施策の展開を図るべきことなどを示した。

記念物と文化的景観の比較からみた名勝の対象把握と保護措置（第V章）

2004年に文化財保護法の一部改正により創設された文化的景観の保護制度は、風景や景観という概念との関係を想起させる点で、一般に、従前から取り組まれて来た名勝地保護施策と密接に関連するものと受け止められる。そうした観点から、国内外の動向から文化的景観に関する基礎的整理を示すとともに、日本の文化財保護施策上、「文化的景観」の対照概念としての「記念物」との比較を通じてその違いを明らかにし、名勝地の対象把握と保護措置に関する検討を深めた。

特に文化的景観保護制度の運用において着目されている諸点を踏まえつつ、時間、空間、生活の3つの観点からの比較検討を通じて、今日、文化財の価値内容や範囲などの把握は、対象そのものの分類としてではなく、多分に相対化していることを示した。そして、風景／景観の観点からの比較検討から、名勝地は観賞を通じて把握される或る場所の意味に着目することに特徴付けられるとした。保護措置の比較検討からは、地域において様々に関連する取組との関係や施策の組合せなどについて確認・調整・展開する機能を持った計画の策定と運用の重要性を指摘した。

名勝の保存管理の沿革と保存管理計画の今日的意義（第VI章）

かつて、日本の文化財保護行政における計画については明確な制度的位置付けが無かったが、特に1970年代以降、史跡等の整備や保存管理のための枠組みが整理されてきたことなどによって、数々の事例とともに計画の策定と実施が定着し、今日では、国内外における遺産保全に係る様々な実践などとも関連して、包括的な計画の視点が発展して来た。

そうしたことを踏まえつつ、名勝の保存管理とその計画に関する経過のほか、保存管理上の着眼点や計画の構成について確認し、事例を通じて取組の多様性を示すとともに、名勝地に関する計画の今日的観点を検討した。そして、特に、近年、遺産をめぐる計画の策定と運用に関する検討の多くが地域の持続性に着目していることを踏まえ、名勝地に関する計画については、地域に見出される様々な名勝地が将来に果たすべき役割を見極め、包括的なマネジメントの観点から検討していくことが重要であるとした。

本研究の成果と課題（第VII章）

以上のような検討を踏まえて、本研究の評価に当たっては、「名勝」を通じて風土に関する固有の捉え方を共有すると考えられる東アジア諸国における景勝地保護に関する施策の動向などについての予察を加え、名勝地保護施策に関する今後における研究の進展の可能性を示し、主な成果として、以下の諸点を挙げた。

○名勝地保護に関する資料を収集・整理等し、施策の具体的な経過や現状を明らかにしたこと。

○名勝地保護施策について、今日的観点から関連する諸分野を含めて横断的に検討したこと。

○地域保全の包括的マネジメントの文脈に名勝地保護施策を位置付ける重要性を示したこと。

そして、日本における記念物の一体性、名勝地の役割、保護措置の展開の観点から総括した。

また、本研究において、今後、名勝地保護施策を発展させ、地域の持続的な保全に資する観点からの研究課題として、名勝地としての保護対象、「名勝」の普及、そして、包括的マネジメントの視点からの名勝地保護に関する更なる検討の必要性を論じた。